

まちなかの暑さ対策ガイドライン 改訂版

目次

序章 ガイドラインの概要	1
—第1部 基礎編—	
第1章 まちなかの暑さと暑熱ストレス	5
1.1 人が感じる暑さ	5
1.2 まちなかの暑さと涼しさ	6
1.3 夏の暑さと暑熱ストレス	9
第2章 まちなかの暑さ対策	11
2.1 まちなかに求められる暑さ対策	11
2.2 暑さ対策のポイント	12
2.3 暑さ対策の事例	14
2.4 暑さ対策による効果	20
2.5 暑さ対策の進め方	22
—第2部 対策編—	
第3章 暑さ対策技術	25
3.1 暑さ対策技術の概要	25
3.2 暑さ対策技術シート	27
① 樹木・藤棚等による緑陰	29
② 人工日除け	31
③ 窓面等の再帰反射化	34
④ 地表面等の保水化	36
⑤ 地表面等の遮熱化	40
⑥ 地表面等の緑化	43
⑦ 壁面等の緑化	45
⑧ 壁面等の保水化・親水化（冷却ルーバー等）	48
⑨ 微細ミスト	51
⑩ 送風ファン	55
⑪ 冷却ベンチ	57
第4章 対策技術選定の際の確認事項等	59
—第3部 技術情報編—	
第5章 体感温度の把握	67
5.1 体感温度指標	67

5.2 実測等による把握方法.....	69
5.3 シミュレーションによる把握方法.....	74
第6章 体感温度による対策効果の把握.....	75

—参考資料—

参考資料：簡易体感温度指標による効果把握.....	1
補遺1：簡易体感温度の計算方法について.....	10
補遺2：透過性のある日射遮蔽物（テントや日傘）の対策効果.....	15